



電子処方箋と薬局薬剤師DX (デジタルトランスフォーメーション)

公益社団法人 日本薬剤師会
常務理事 原口 亨

2022/10/02

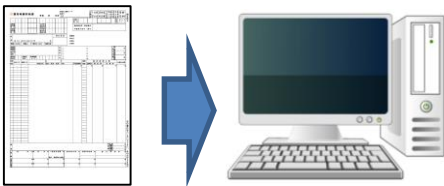


薬局薬剤師のデジタル化とDX

デジタルイゼーション

デジタルイゼーション

デジタルトランス
フォーメーション



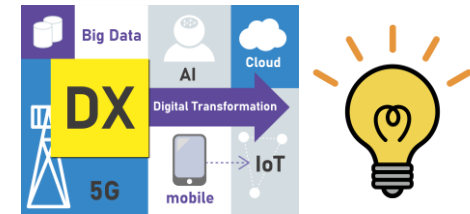
データのデジタル化

- ・手書き→レセコン
- ・紙保存→データ保存



プロセスのデジタル化

- ・システム連動・連携
- ・薬歴・鑑査・薬袋・会計
- ・オンライン請求 e.t.c.



新しい価値の創造

- ・差別化
- ・競争優位
- ・イノベーション

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもちに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。」

引用元：DX推進ガイドライン（経済産業省）

薬局薬剤師DX



(デジタルトランスフォーメーション)

薬局・薬剤師に置き換えてみると・・・

「薬剤師・薬局を取り巻く急速な環境の変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、地域住民や社会のニーズをもとに、医薬品等の販売や調剤業務、薬剤師サービスを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、文化・風土を変革し、医薬品提供上の課題解決を行う。」

と言えるのでは

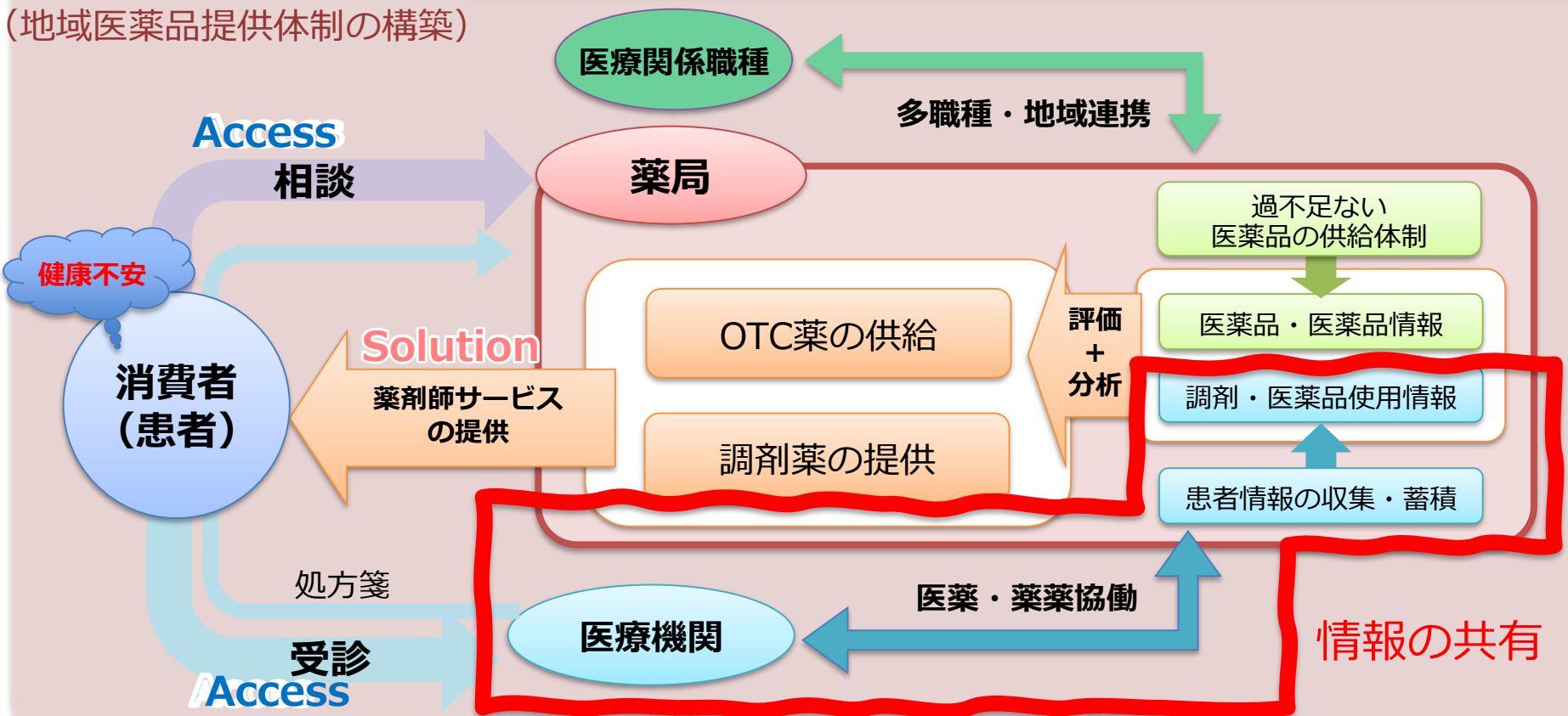
1. データとデジタル技術の活用
2. 地域住民や社会のニーズを満たす
3. 業務やサービスの変革
4. 課題解決

将来目指すべき薬剤師・薬局の姿 (地域に貢献する薬剤師・薬局のビジョン)



患者・住民が使う医薬品の一元的管理と、受ける薬物治療の観察・管理

医薬分業制度
(地域医薬品提供体制の構築)



地域・患者への適切な医療提供体制を支える薬局・薬剤師
国民皆保険、地域包括ケアシステムに貢献する薬局・薬剤師の実現

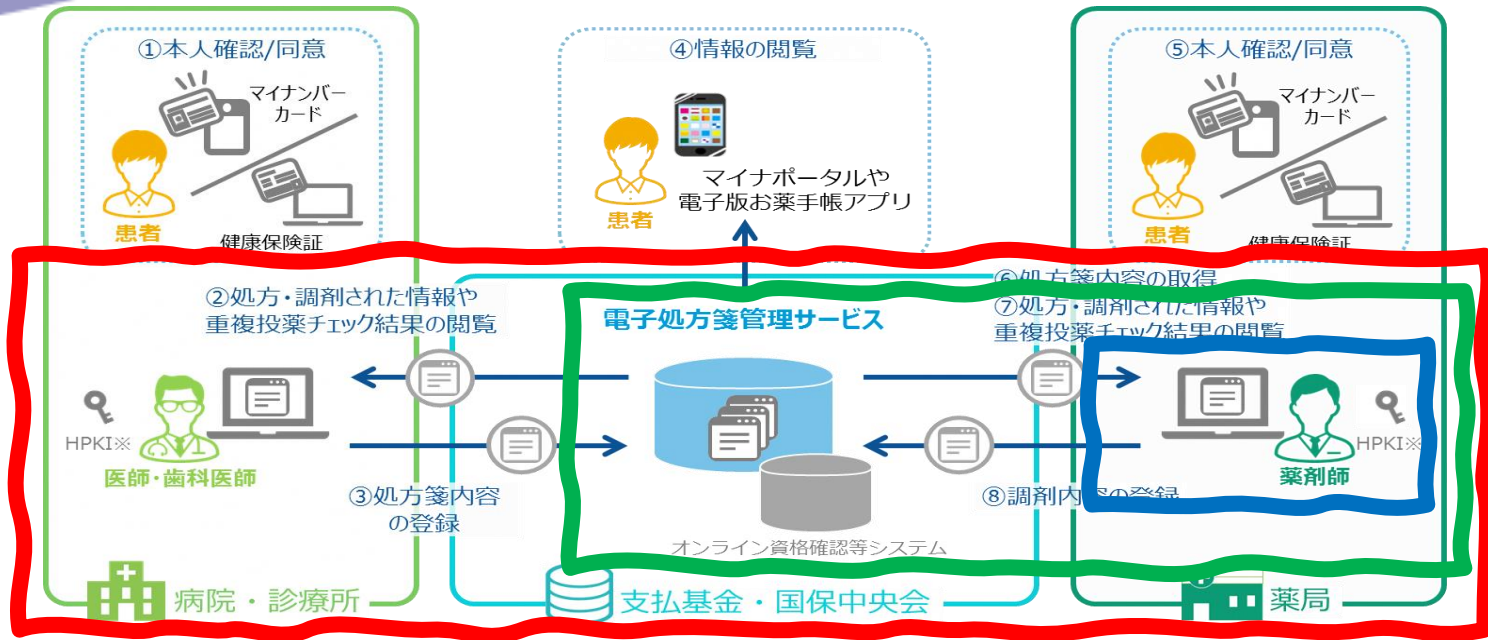
電子処方箋で何が変わる？

- **電子的な処方箋のやり取り**
業務やミスの低減・ペーパーレスによるメリット
- **患者情報の把握**
直近データ、過去3年分のデータの参照
- **重複投薬等のチェック**
医師・歯科医師によるコメント等の確認
- **患者への便益の提供**
電子処方箋の事前送付・マイナポータルでの情報提供



正確で、安心・安全な薬剤師サービスの提供
リアルタイムな健康医療情報のDXでの活用

電子処方箋・オンライン資格確認・薬剤師資格証



電子処方箋管理サービス(レセコン・電子薬歴の対応を含む)

…電子処方箋の管理とともに、調剤情報の取得や各種チェック

オンライン資格確認

…オン資のサービスを提供するとともに、データヘルスの基盤
(電子処方箋管理サービスもこの基盤に)

薬剤師資格証(HPKIカード)

…薬剤師であることを証明するとともに、
「電子署名(電子的な印鑑)」「認証(電子的な通行証)」として

全てが揃って、はじめて電子処方箋の取扱が可能になる



薬剤師資格証（HPKIカード）

・発行目標

R5/3末には、全ての薬局（6万1千薬局）において管理薬剤師を含む1～2名の薬剤師が薬剤師資格証（HPKI）を利用できるようにする。

令和4年9月26日より受付再開

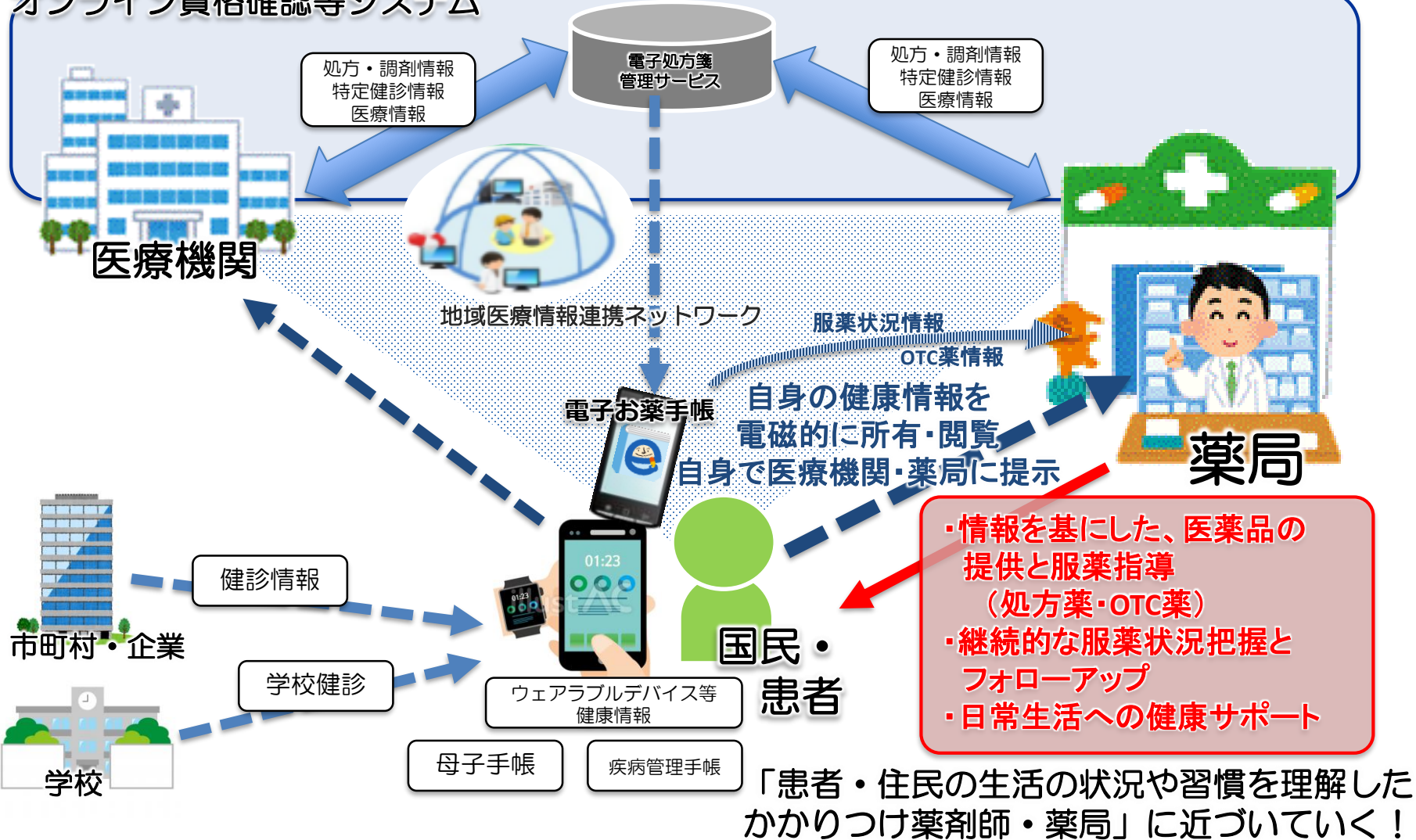
		発行枚数 現在：1,000枚
導入期	都道府県薬・地域薬剤師会の担当役員等の薬局で、オン資システムが稼働している薬局の管理薬剤師への発行により、今後の発行を円滑に進める体制構築（R4/10～目途）	8,000枚 (累計：9,000枚)
普及期Ⅰ	6万1千薬局の管理薬剤師への発行 (R4/10下旬～R5/1月上旬目途)	52,000枚 (累計：61,000枚)
普及期Ⅱ	2人目の薬剤師への発行 (R5/1中旬～R5/3末目途)	61,000枚 (累計：122,000枚)
拡張期	薬局に従事する他の薬剤師への発行 (R5/4～目途)	必要数 (累計：最大約18万枚)

※カード現物が不足の際には第二証明書を先に発行し、後日薬剤師資格証（HPKIカード）を発行する分を含む

保健医療情報およびPHRの利活用による より質の高い服薬管理の提供（概念図）



オンライン資格確認等システム



- ・情報を基にした、医薬品の提供と服薬指導（処方薬・OTC薬）
- ・継続的な服薬状況把握とフォローアップ
- ・日常生活への健康サポート

「患者・住民の生活の状況や習慣を理解したかかりつけ薬剤師・薬局」に近づいていく！

業務やサービスの変革

■ 対物業務の最適化

自動化(ロボット)・薬剤鑑査・在庫管理(AI)

■ 調剤業務の支援

処方監査支援(AI)・服薬指導支援(AI)

■ 医療情報の連携

標準化・シームレス&リアルタイム連携

■ 患者支援

服薬支援・フォローアップ・次世代お薬手帳
ウェアラブル

■ 社会問題の解決支援

医療ニーズのリアルタイム把握・医療従事者数

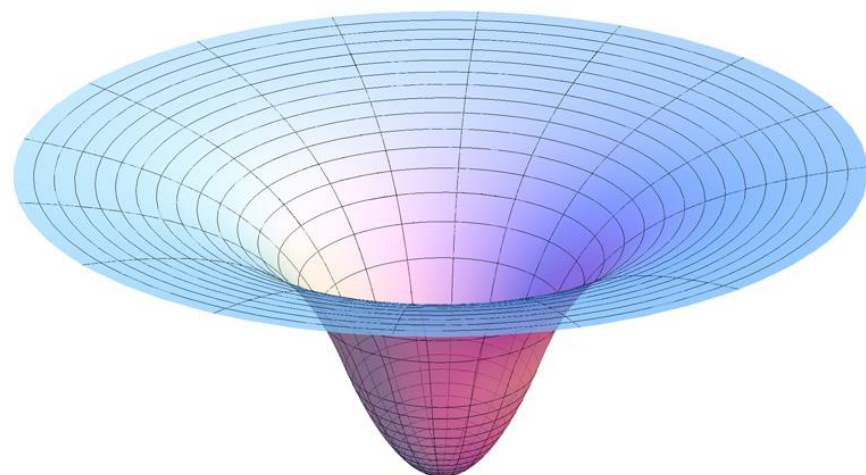
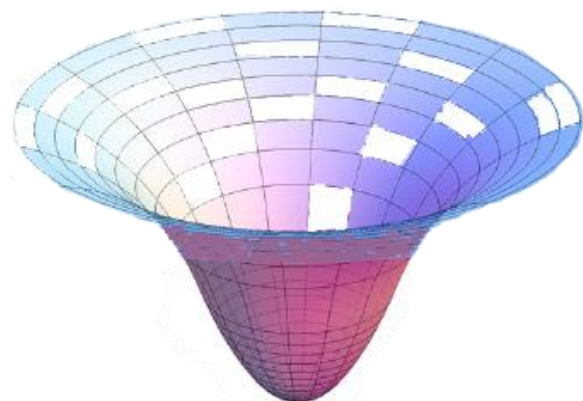
電子処方箋の
運用

e.t.c.

患者満足度(患者価値)・業務の最適化
医療の質向上(安全・安心)

薬剤師業務の支援(薬剤師に取って代わるものではない)

「とりあえずDX」や「とりあえずAI」の先



ディープラーニング(AI等)

多くの健康医療情報

俯瞰的に判断することを前提に**有効に活用**

(欠損した情報・偏った示唆の可能性を踏まえ)



- 判断のための薬剤師力向上の為の研鑽
- 活用しているテクノロジーの理解

最後に

- 新たな情報の積極的なインプット
 - テクノロジー（医療ICT・DX）
- 迅速な意思決定と行動
 - 受け入れる姿勢（多様性・変化）
 - 臨機応変（手段・方法）
- ビジョンの明確化
 - 薬剤師・薬局として（判断基準）

電子処方箋への対応
オンライン資格確認の導入
積極的対応をお願いいたします